

ハードディスクの 領域確保・初期化 (Windows XP)

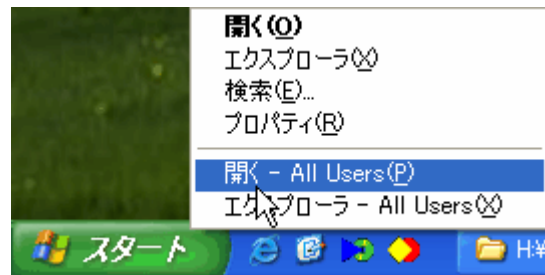
領域確保及び初期化のサンプルは、以下のとおりです

OS : ウィンドウズXP
ファイルシステム : NTFS
作成ドライブ : D: (HDD)
パーティション : プライマリ(基本領域)
 : 第一パーティション
圧縮機能 : 利用不可
アクティブ : 必ず設定

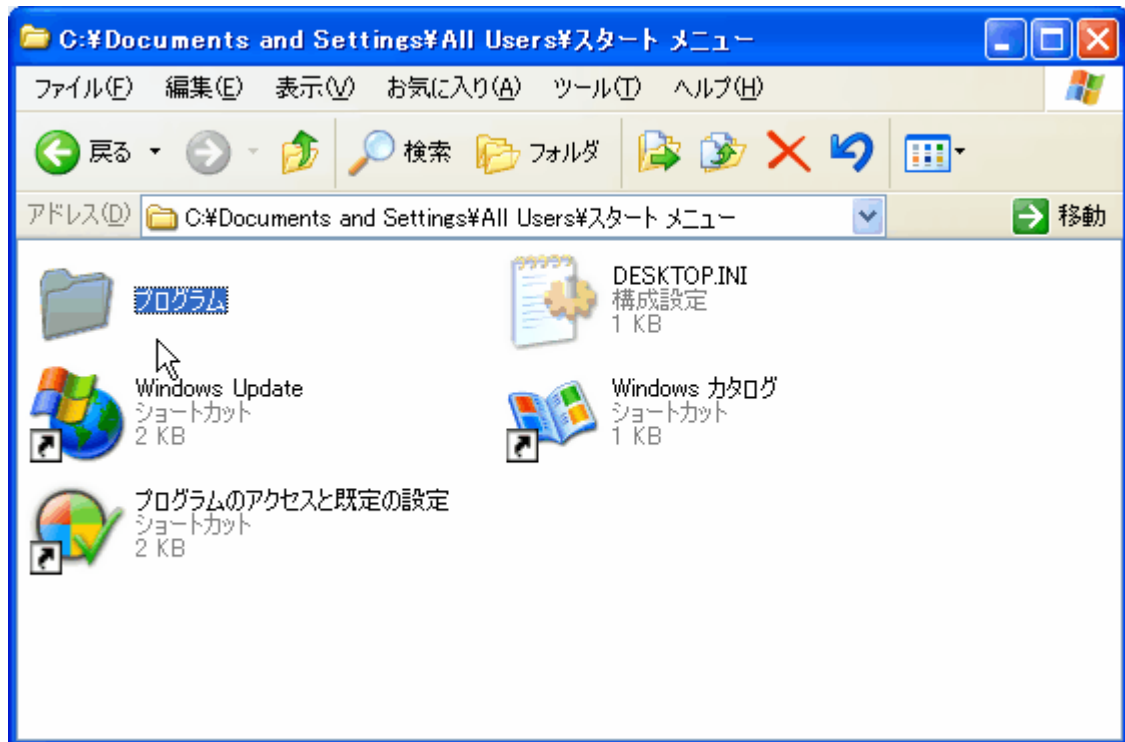
(c)Kuni 2004/02

注意事項

- この説明書は、バックアップツールBAKxシリーズをご利用頂く皆様の参考の 為に作成したものです。
- 領域確保及び初期化機能は、OSの機能です。作者の作成している機能では有りません。
- 領域確保及び初期化の詳細については、OSの取扱説明書又はOS作成メーカーの サポートにお問い合わせ下さい。
- この説明書に間違いが有る場合の保証は有りません。作者に瑕疵が有る場合でも、同様に一切の保証は有りません。
- この説明書記載事項の複製及び転用を禁止します。
- 起動ドライブ(ウィンドウズのシステムドライブ)の初期化は、起動ドライブと同じインターフェイスで行って下さい。
USB等で初期化した場合、バックアップが完了してもそのドライブから起動する事は出来ません。
システムがIDEならIDEで、システムがSCSIならSCSIで初期化して下さい。
- 間違ったドライブに対して処理を行うと取り返しがつきません。
取扱説明書を理解の上、十分に注意をし、処理を実施して下さい。
特に「領域解放・確保」「初期化」「復旧先ドライブの選択」「パーティションの選択」等には特段の注意をお願いします。



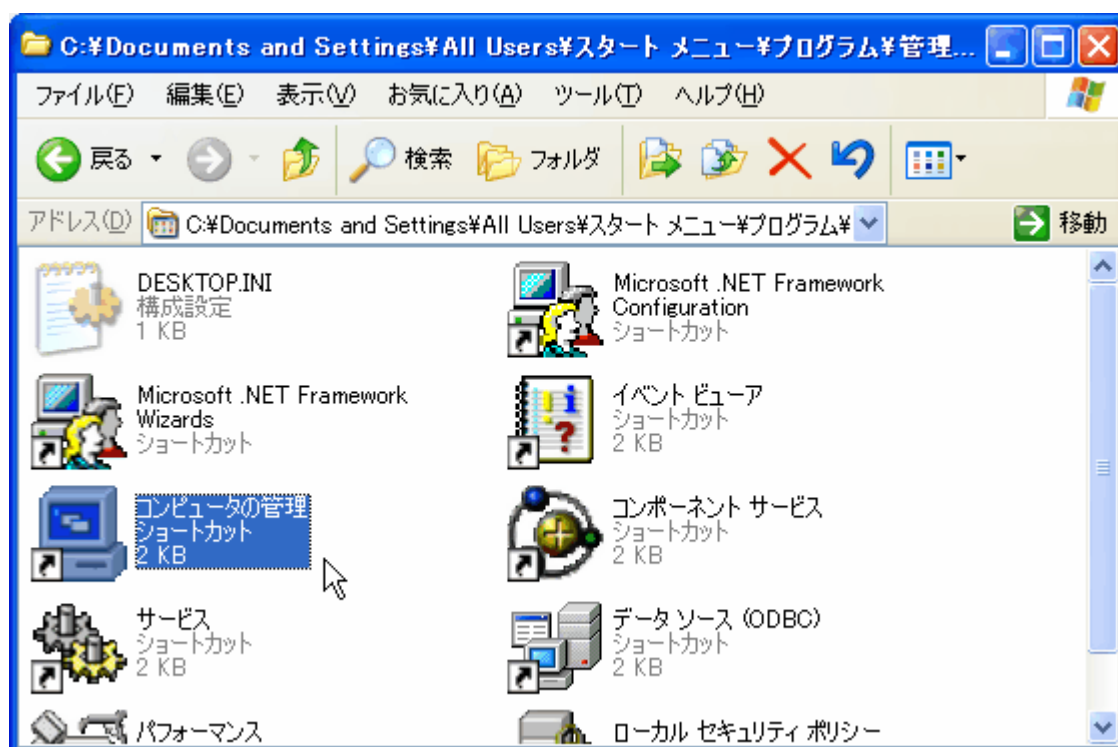
- スタートボタンを右クリック
- 出るメニューから「All Users」をクリックします。



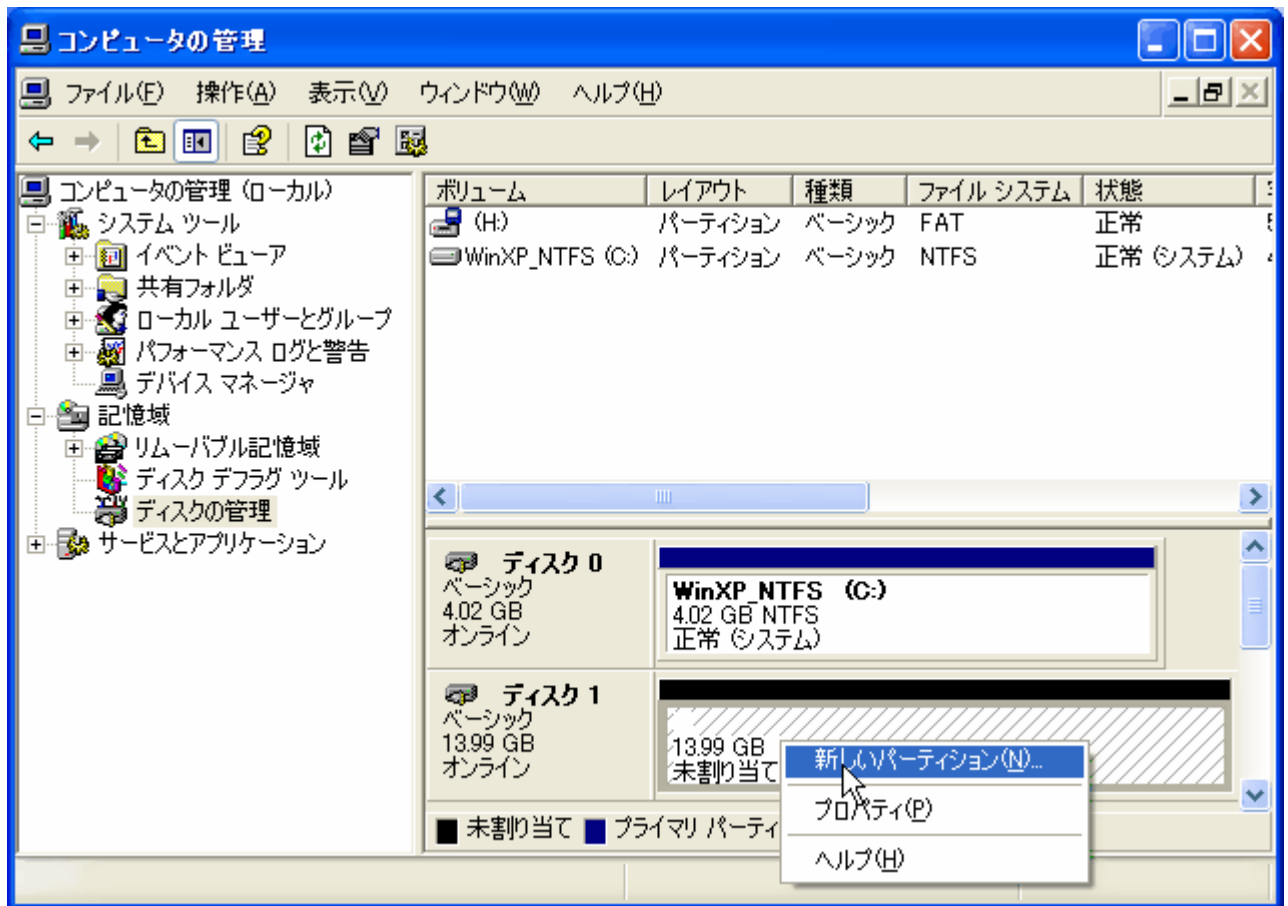
- 「プログラム」をクリック



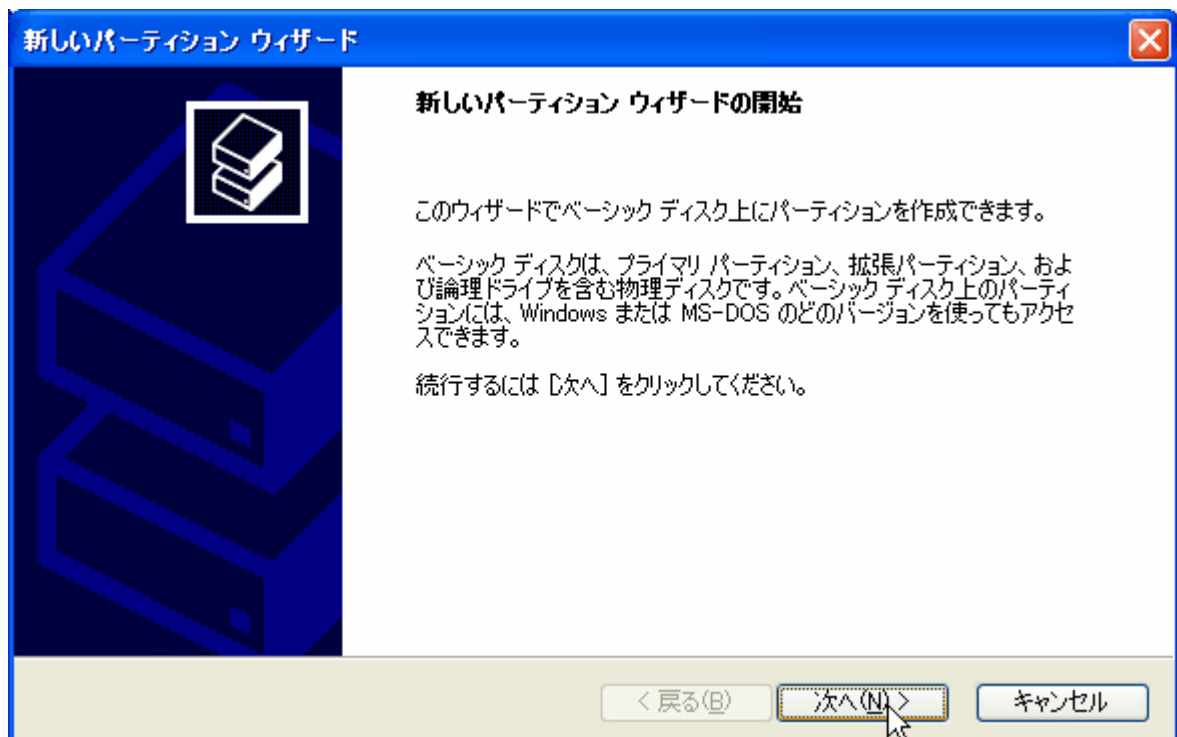
- 「管理ツール」をクリック



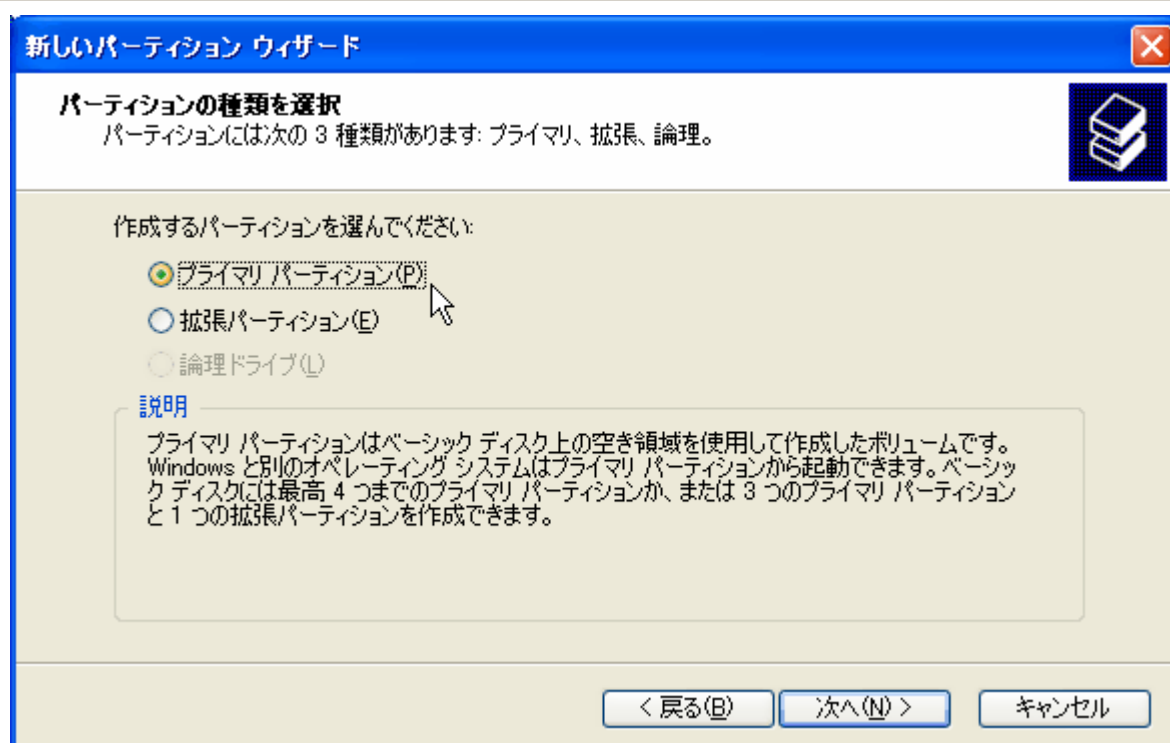
- 「コンピュータの管理」をクリック



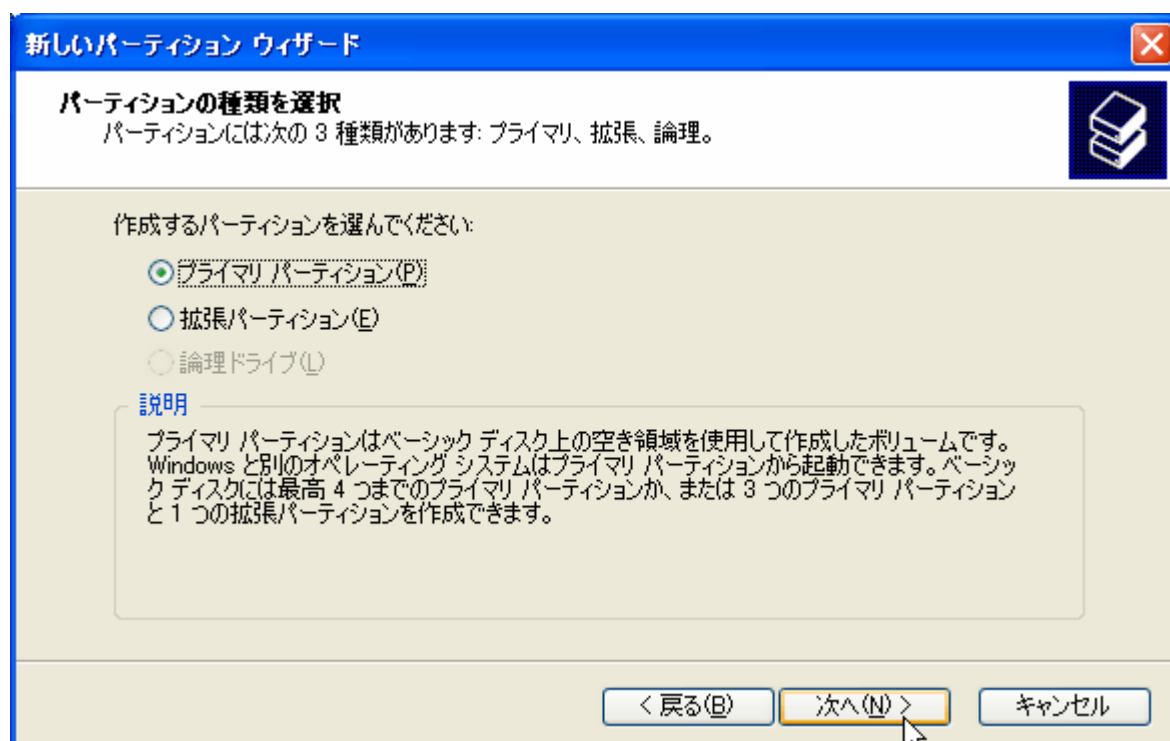
- 「ディスクの管理」をクリック
- 初期化するドライブの図の「未割り当て」を右クリック
- 表示されるメニューから「新しいパーティション」をクリック
- 参考: 既存のパーティションが存在する場合、そのまま利用する事も出来ますが、「パーティション削除」後「新規作成」する事を推奨致します。
- 注: パーティション削除や初期化の折には、重要データの待避を忘れずに。



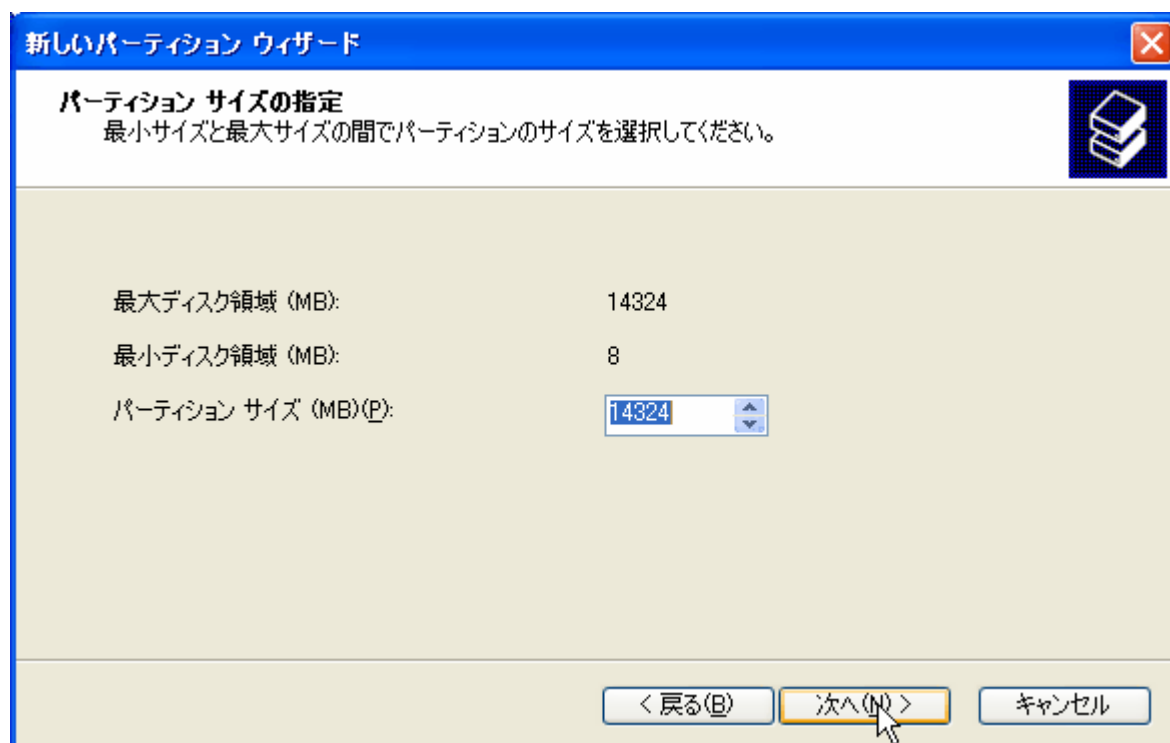
- 「次へ」をクリック



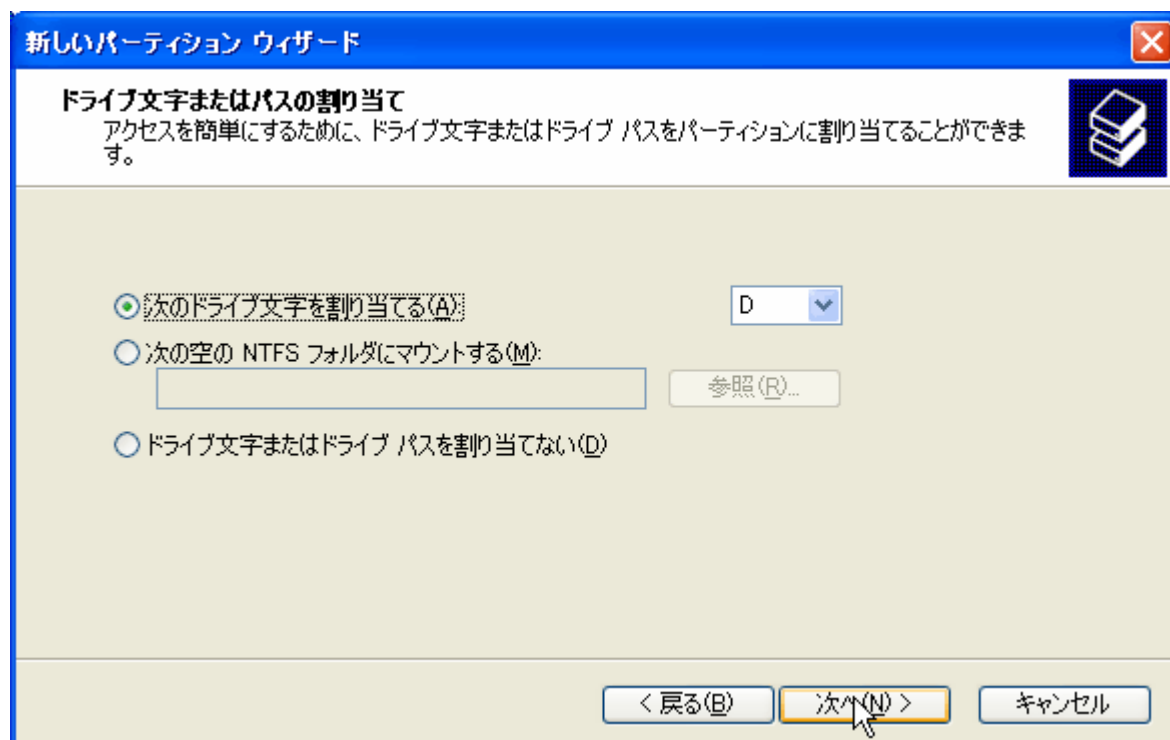
- 「プライマリパーティション」をクリック



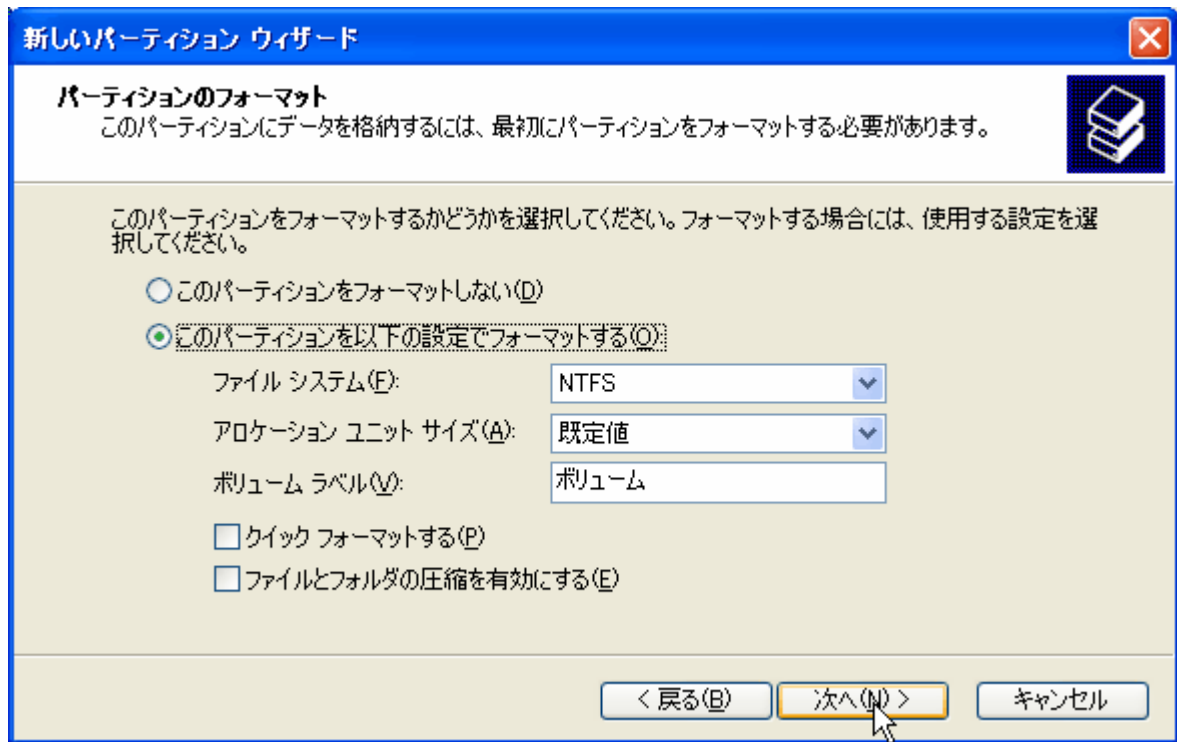
- 「次へ」をクリック



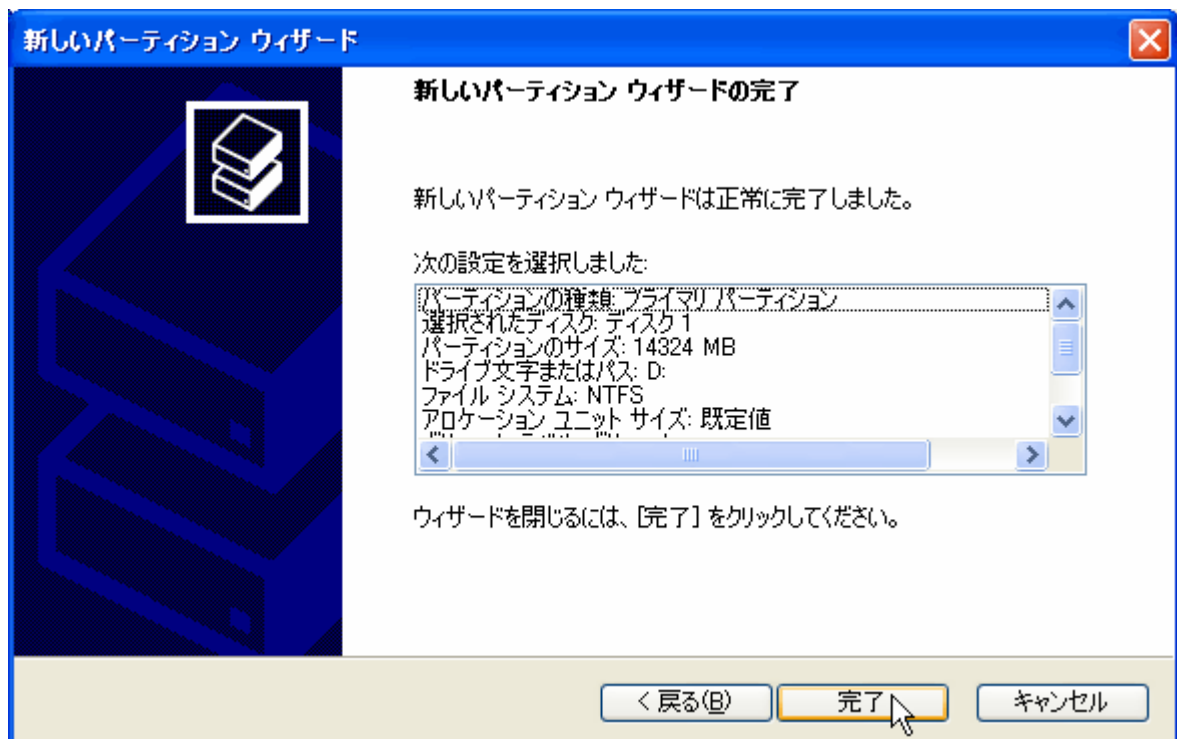
- パーティションサイズを指定
- 「次へ」をクリック



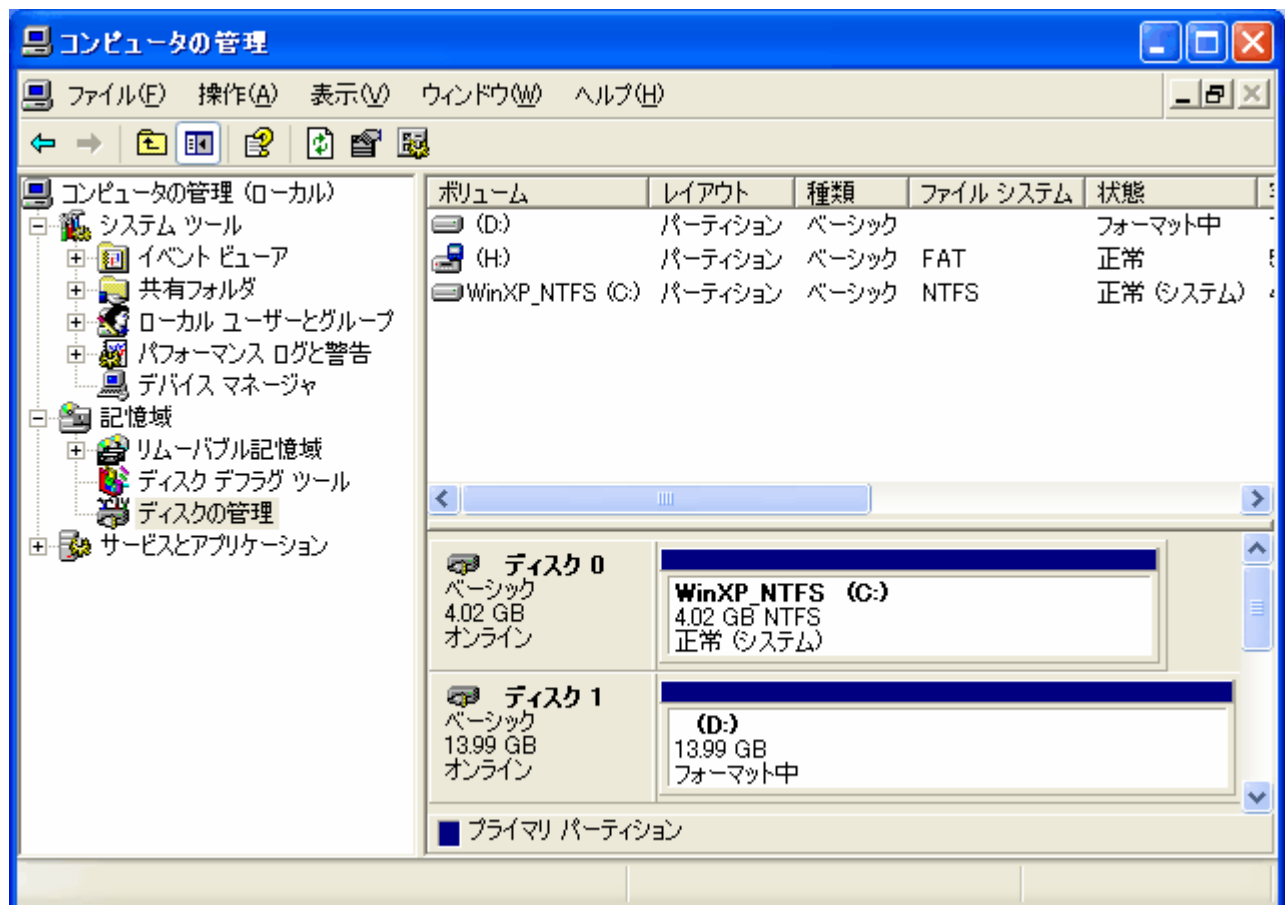
- 「次のドライブ文字を割り当てる」をクリック
- ドライブ文字を指定(この例では、D:)
- 「次へ」をクリック



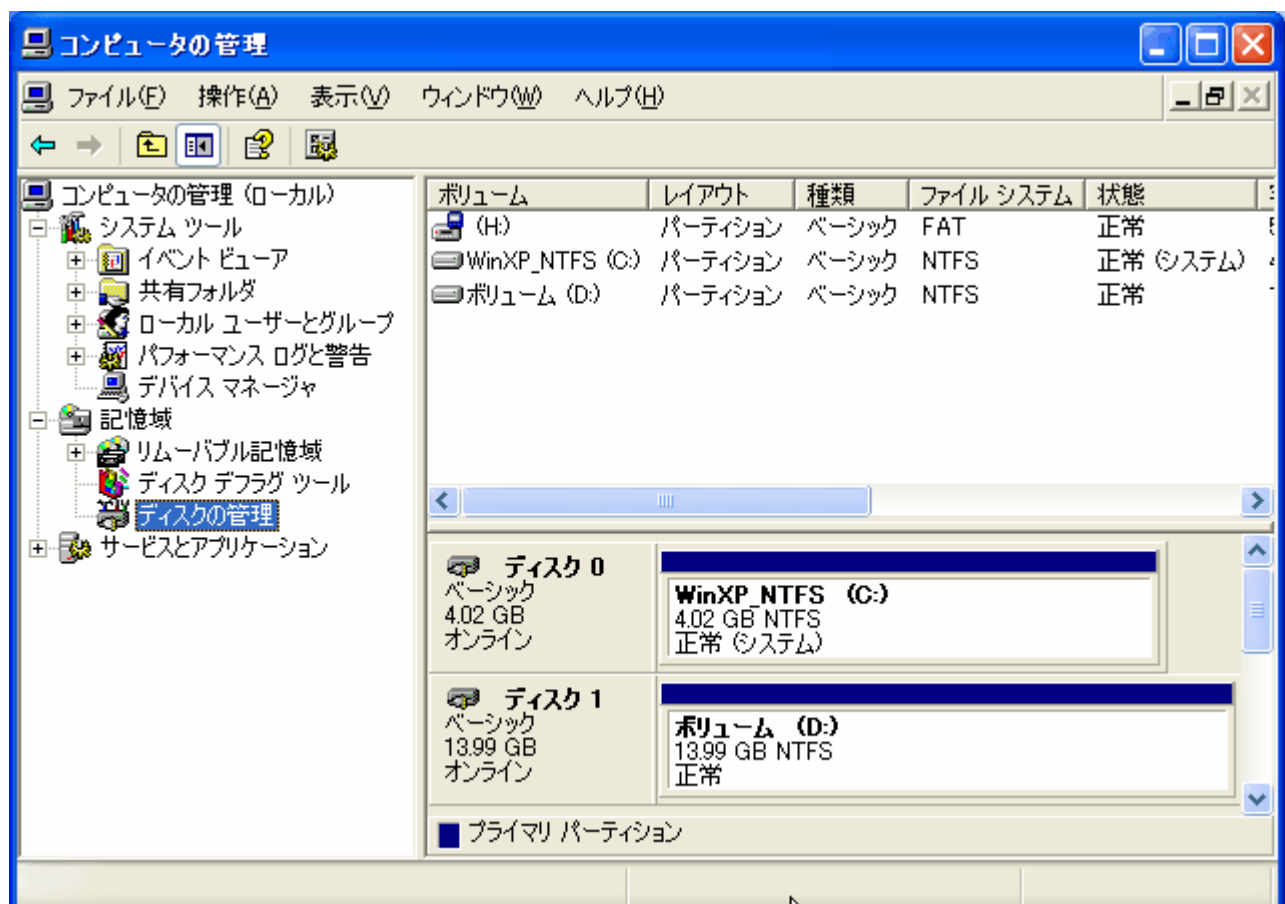
- 「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」をクリック
- ファイルシステムを「NTFS」と指定
32 GB以下のパーティションの場合、FAT32も可です。
- 「次へ」をクリック



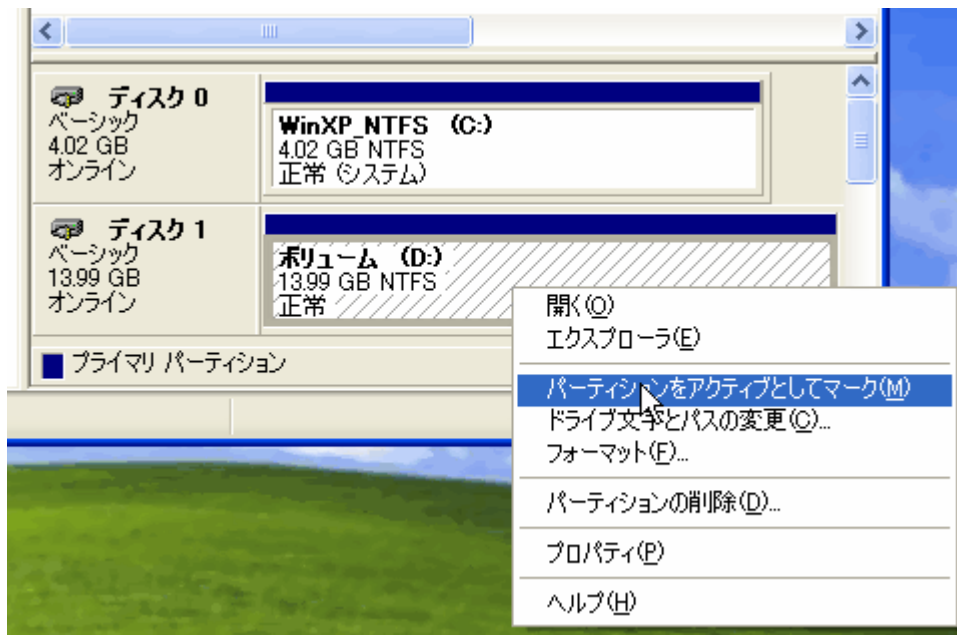
- 設定項目を確認
- 「次へ」をクリック



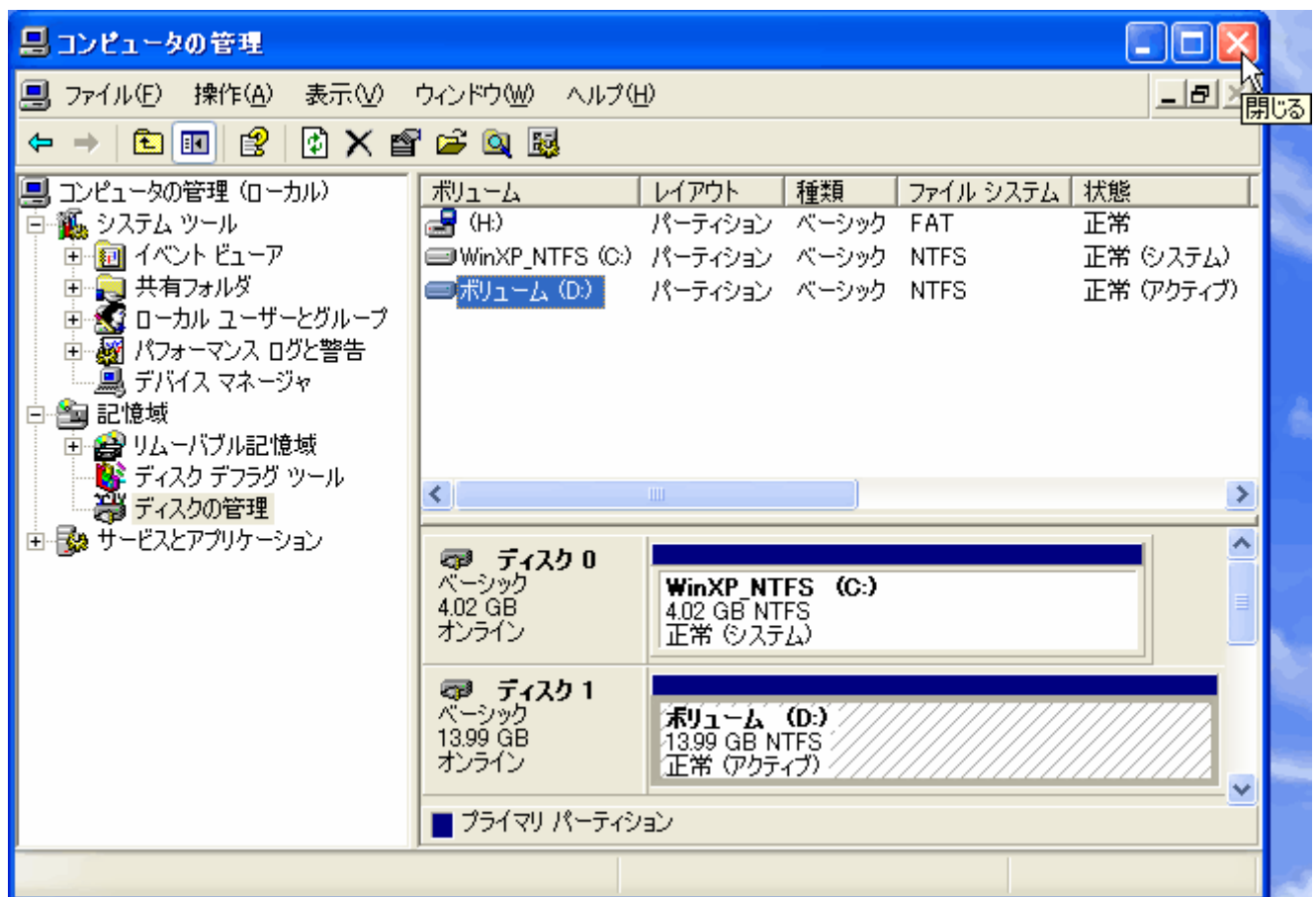
- フォーマット中・・・暫くお待ち下さい。



- フォーマット完了です。



- パーティションをアクティブ(起動可)とします。
- 初期化するドライブの図の「正常」を右クリック
- 表示されるメニューから「パーティションをアクティブとしてマーク」をクリック



- パーティション図が「正常(アクティブ)」と表示されている事を確認
- 「コンピュータの管理」を終了します。
- 動作確認 (NTFSの場合)

計算機に初期化したハードディスク1台のみ取り付けます。

そのハードディスクから起動します。

以下のエラーメッセージが出ればOKです。

NTLDR is missing

Press Ctrl+Alt+Del to restart

上記メッセージが出ない場合失敗が考えられます。

再度やり直してください。

- ご苦労様でした。

■